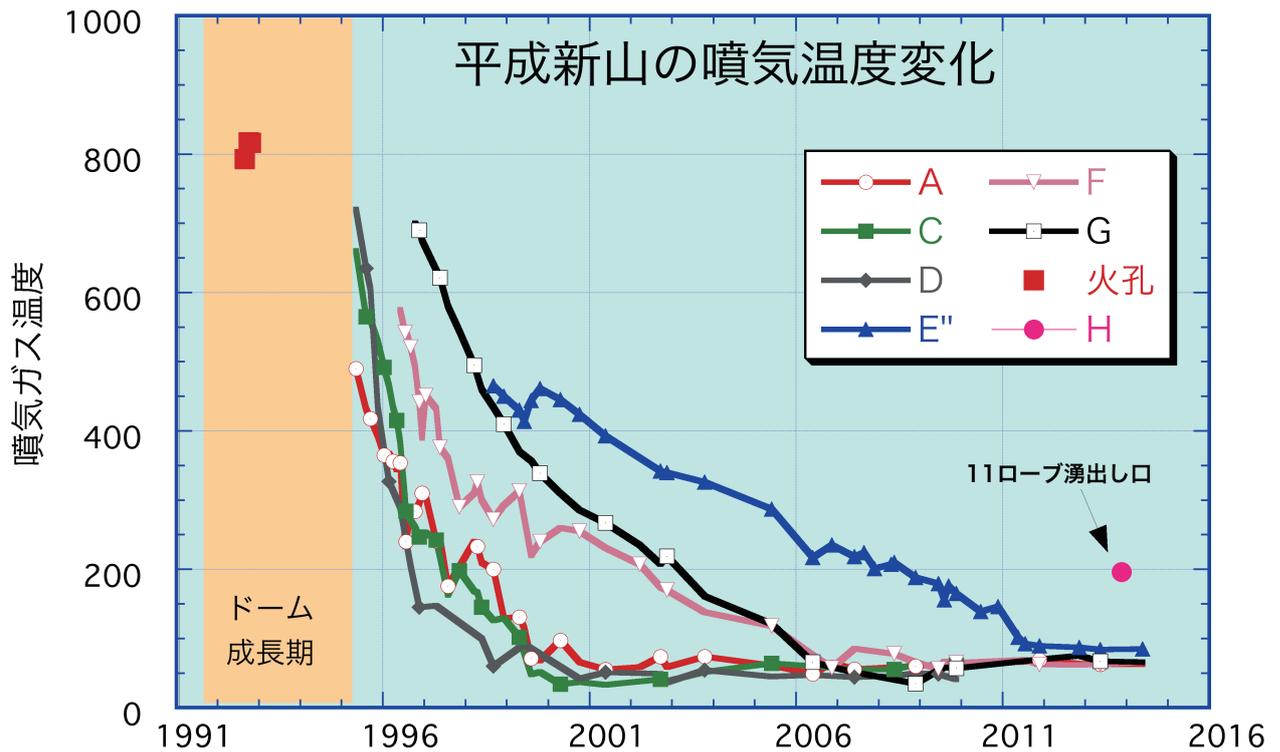
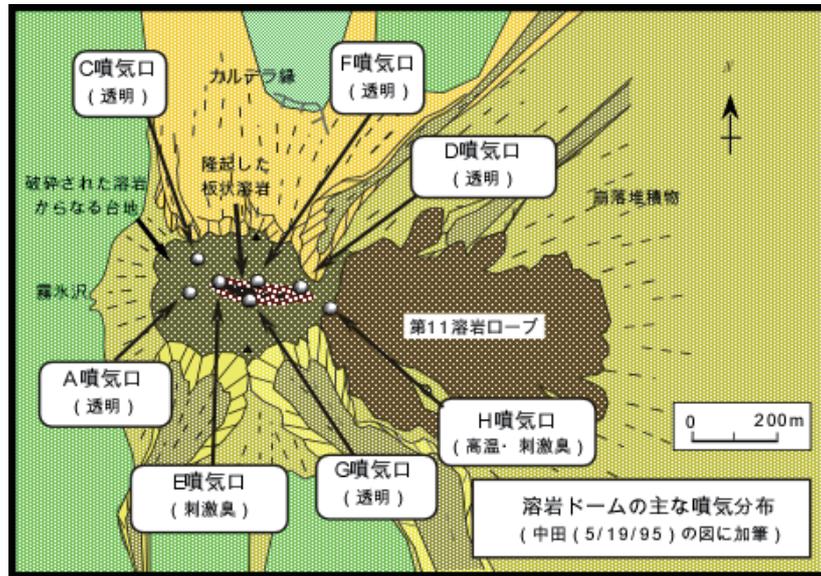


# 平成新山ドームの噴気ガスの温度変化



- 平成新山溶岩尖頂 (Spine) の周辺の噴気ガスの温度は順調に低下して摂氏 100 度を下まわり、現在はほぼ横ばい状態である。2014 年 5 月 22 日測定での最高温度は E 地点の摂氏 85.0 度であった。
- E 点は溶岩尖頂の西側の根元にあり、マグマの湧き出し口 (旧地獄跡火口) の直上にある。かすかな硫黄臭があるが、活動は衰えつつある。
- 普段は立入していない第 11 ロープの湧き出し口付近では、高温の刺激臭がある噴気が数ヶ所観測されており、2013 年 11 月 16 日測定では最高 196 度であった。周囲は硫黄の昇華物が見られる。

\*神蘭めぐみ・宮崎真大・松島 健・清水 洋